

里山研究、はじめました。

高槻里山ライフ研究所

# ノハラボ高槻



「ノハラボ高槻」は、高槻北部の歴史や文化をよく理解し、  
どうやったらここで楽しく遊べるかをマジメに研究する集団です。

高槻・山岳地域に伝わる文化を活性化・発信し、継承する事業として、実態調査や体験プログラムの試行、情報発信に取り組んでいます。

今年度からは、地域の伝統文化（地域資源）と、地域で活動する方々等とのつながりを活かした「ノハラボスクール」を開催しています。

## ■正式名称

高槻・山岳地域に伝わる文化を  
活性化・発信し、継承する事業

## ■概要

高槻市の北部を占める山岳地域は、山岳信仰の隆盛とともに麓（ふもと）に村々が形成され、1300年以上の歳月をかけて独特の地域伝統文化が育まれてきた地域です。

一方で、高齢化の進行等を背景に、有形・無形の地域伝統文化は、長期的に維持することが困難になっている他、地域の観光・教育分野等へ十分には活用・周知されていません。

本地域において自然や農業を体験するプログラムを通じ、自然の恵みや摂理について学ぶ「わくわく探検隊」事業を展開してきた「NPO法人ノート」が、地域住民や社寺等より協力を頂きながら、文化財の歴史的価値を学習する機会を作り、その価値を積極的に発信していくために、実態調査や体験プログラムの試行、情報発信に向けたパンフレット等の作成に取り組んでいます。

## ノハラボ高槻、これからの研究課題。

### 1. 里山のみんなが先生だ。

まずは高槻に住んでいるみんなが高槻のことをよく知り、そしてひとり一人が「先生」になれるように。

そのためのプログラムを市民に提供します。また、高槻市教育委員会等と連携を図りながら、児童への教育に取り組みます。

### 2. 里山を「エンターテイメントタウン」に。

長年かけて育まれた歴史や文化を背景に「ここにしかない」ソフトを開発します。

本地域をフィールドとしたソーシャルビジネスの仕組みを作り、地域住民が参画できるコミュニティの活性化を目指します。

### 3. ウェブを活用したプロモーション。

ウェブや紙媒体の充実を図り、市外への本地域の伝統化の情報発信を積極的に展開します。

twitterでの情報発信も積極的に展開していきます。

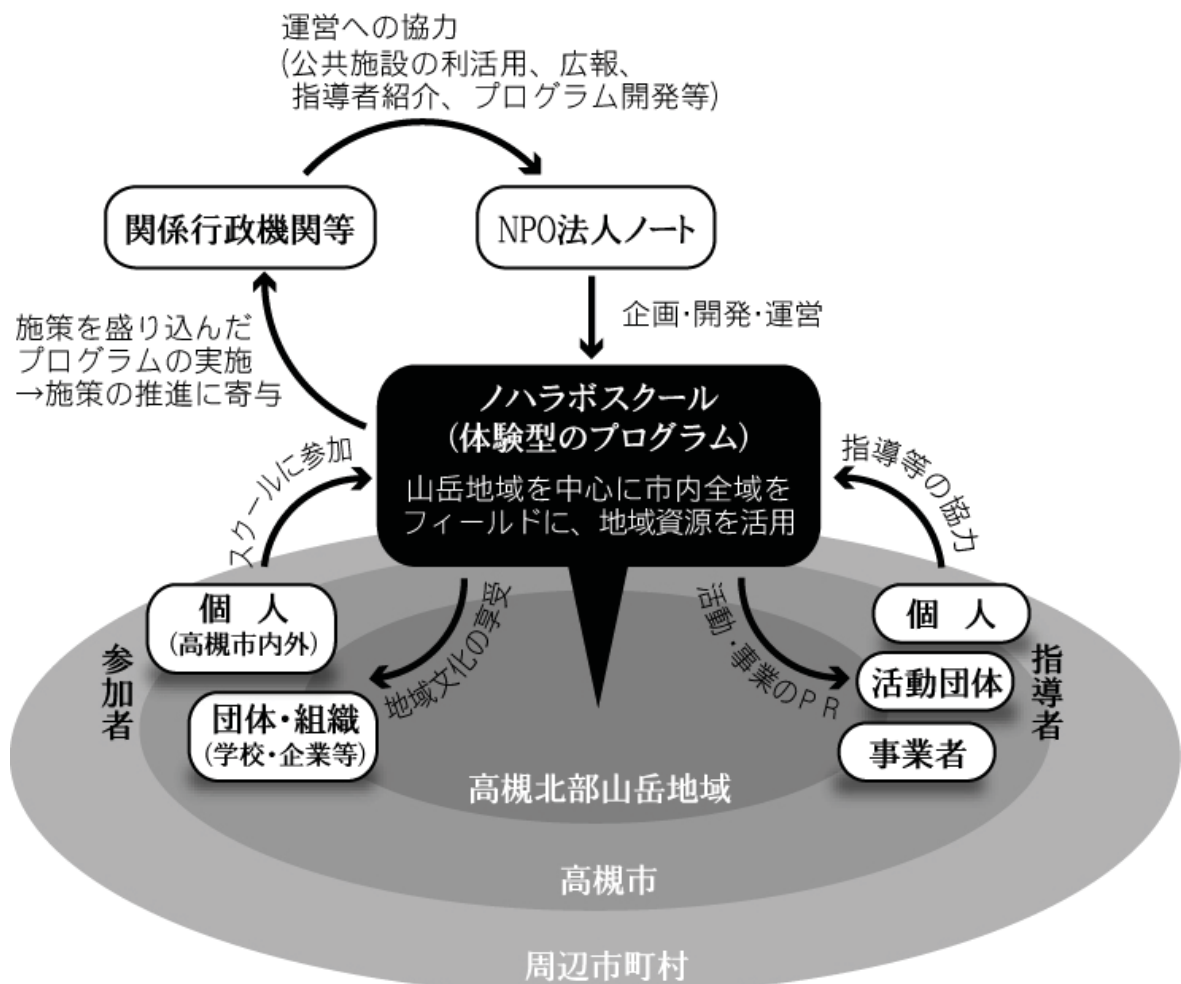
ノハラボ高槻「研究員」メンバーも随時募集中です。  
一緒に高槻で遊みましょう！

●お問い合わせ先 事務局／NPO法人ノート (<http://npo-note.com>)  
e-mail/[info@npo-note.com](mailto:info@npo-note.com)



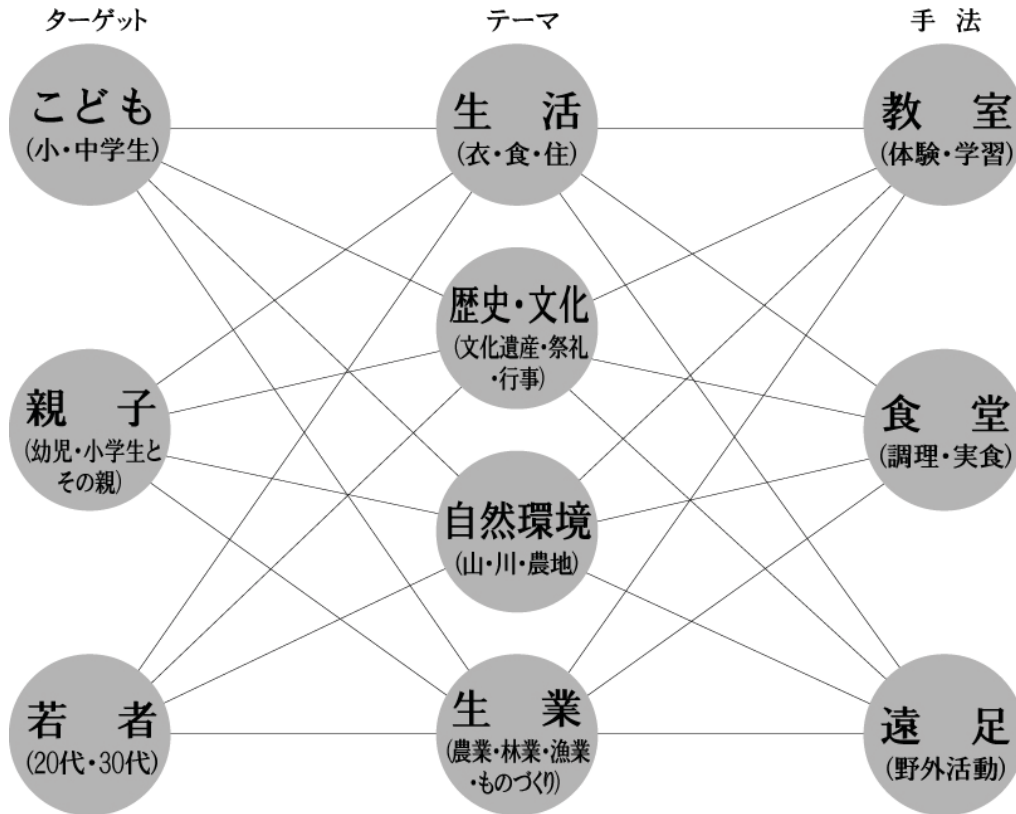
## ノハラボスクールは、高槻・山岳地域の伝統文化を楽しく学ぶところです。

- ・ノハラボスクールは、若い世代を対象に、高槻・山岳地域に伝わる伝統文化について、当該地域をフィールドとして地域住民等と交流しながら楽しく学ぶ体験型のプログラムです。
- ・これからの高槻を担う世代が、地域の環境や文化に関わる機会を増やすことで、高槻の文化の活性化や観光振興につなげることを目指しています。
- ・NPO 法人ノートが主体となり、行政関係機関等の連携のもと、地域の住民や活動団体、事業者等を指導者に迎え、運営します。
- ・高槻市の施策（教育、文化財保護、商業・地場産業・観光の振興、農地・自然環境の保全、景観・地域づくり等の分野）を盛り込んだプログラムを展開することで、より幅広い層の意識の向上を図るとともに、各分野の取り組みを活性化し、施策の推進に寄与します。



3つのターゲット、4つのテーマ、3つの手法で展開します。

・「こども」、「親子」、「若者」の3者をターゲットに、「生活」、「歴史・文化」、「自然環境」、「生業」の4つのテーマを、「教室」、「食堂」、「遠足」の3つの手法で学び体験します。



◆ターゲット

こども／ 個人：小学生～中学生 団体：小学校や中学校（総合学習支援等）、学童児童、地域の子ども会 など  
 親子／ 個人：幼児～小学生とその家族  
 団体：学童児童、地域の子ども会、市内の企業など（社員の福利厚生としてのレクリエーション活動、社会貢献活動等）  
 若者／ 20代～30代の高槻市民、高槻市周辺の市町村民、高槻市内への通勤者、高槻ファン など

◆テーマ

生活（衣・食・住）／どぶろく、しいたけ、寒天、二料山荘、檜田温泉 など  
 歴史・文化（文化遺産・祭礼・行事）／北摂三山（神峯山寺、本山寺、安岡寺）、毘沙門詣での街道、八阪神社、檜船神社、牛地藏、原八景、三好山・芥川山城跡 など  
 自然環境（山・川・農地）／里地里山、農地、芥川、たけんど、摂津峡、ボンボン山、ホテル など  
 生業（農業・林業・漁業・ものづくり）／地域の農家、大阪府森林組合・クラフトセンター、寒天小屋 など

◆手法

教室／ 地域の方々の指導による体験・学習イベント、学校その他教育・保育施設等への出前教室（講義、体験、ものづくり、社会見学など）  
 食堂／ 市内の生産者や飲食業者等と連携した食のイベント（栽培、収穫、調理、実食 など）  
 遠足／ 原地区・檜田地区をフィールドとした野外活動（ウォーキング、ハイキング、自然観察、キャンプ、自然の中でのものづくりなど）

## 講座・イベントの開催実績があります。

### 『平成 23 年度実施「ノハラボ大学」寒天アカデミー（講座）』

主催：NPO 法人ノート（文化庁補助事業）

#### 1. 背景・経緯

高槻市域にかつて広がっていた里山的環境は、戦後の市街化の進展により大きく失われてしまいました。そのため、かつての里山的環境で育まれてきた地域の伝統や文化を日常生活の中で体感する機会が少なくなってきました。

#### 2. テーマ・目的

高槻の自然環境(森・川・里)や社会的環境(地理・流通など)の条件に適合して近世に成長し、現在も高槻の特産品となっている「寒天」を題材として取り上げます。寒天製造を通じて、かつての高槻の里山的環境(農地、山)、気候の特徴とその変化(温暖化)、商品及び原材料の流通の仕組と地理的要因の関係などを学ぶことができます。子供にとっても身近な食を通じた学習・体験により、地域(高槻)への関心が高まり、ひいては地域への愛着を醸成することができます。

#### 3. 内容

講座のみ、講座+体験など時間に応じてプログラムを調整できます。

##### ○「講座」

- ・なぜ高槻で寒天が？
- ・原材料は？
- ・寒天はどういったものに使われている？
- ・どうして寒天作りが少なくなった？

##### ○「体験」

- ・寒天スイーツ作り

#### 4. ノハラボ(NPO 法人ノート)の強み

- ・寒天に関する学習プログラムを提供できます。時間や規模に応じたアレンジも可能です。
- ・プログラムに必要な機材、素材等を用意できます。
- ・NPO スタッフ、専門家、地域住民などの講師を用意することができます。



平成 23 年度実施「ノハラボ大学」  
寒天アカデミー（講座）



平成 23 年度実施「ノハラボ大学」  
寒天スイーツ作り（体験）

[連絡先]

特定非営利活動法人 ノート（代表：杉本真一）

所在地：〒569-0065 高槻市城西町 5-3

電話：072-672-5173

HP：<http://npo-note.com>

メール：[info@npo-note.com](mailto:info@npo-note.com)